

31号

熱田高同窓会報

発行
愛知県立熱田高等学校
同窓会事務局
TEL(052)-652-5858

同窓会ホームページ
URL:<http://www.atsuta.gr.jp/>

熱田高校ホームページ
URL:<http://www.atsuta-h.aichi-c.ed.jp/>

目次

巻頭文 ----- 1

多様化の時代を迎えて
執行役員 青木宏憲 23 回生

着任のご挨拶 ----- 2

21 代校長 板垣光保

退任のご挨拶

20 代校長 桑山幸久

熱田高校の今 ----- 3

進路部より

進路状況と今後の展望

進路指導主事 寺村祐邪

新制服への期待

生徒会長 2 年 松波梨桜

がんばれ熱校生 ----- 4

女性白バイ隊員の私

61 回生 杉木香穂

半世紀以上前の思い出

17 回生 吉田 眞

アジア大会を成功させるために

21 回生 徳田 康

20 年経った今でも

48 回生 岡崎真衣

事務局だより ----- 7

教職員の異動

デジタル・ホームカミングデー
の制作

同窓会長 (17 回生) 柿崎賢一

閲覧QRコード



同窓会 新役員一覧

同窓会 6 年度会計報告

挿し絵 「夏」 (油彩画)

11 回生 田中和枝 (旧姓 竹内)

同窓会のQRコード



入学式 新入生とご父兄の登校風景(令和7年4月7日)



多様化の時代を迎えて
執行役員 青木宏憲 23 回生

時代は変わったとか、昔は〇〇だったな…、といった言葉をよく耳にします。同時に私たちは日々の生活の中で、時代の変化を肌で感じることも多くなっています。技術の進歩や社会の価値観の多様化により、我々の暮らしや考え方は大きく変わってきました。時代の変化に適応していくことは個人だけでなく社会全体にとっても非常に重要なことです。その一方で変化のスピードに追いつくことは決して容易ではありません。このような背景でも、大人から子供へ伝えるべき基本的な価値観や大切なことは時代が変わっても本質は変わらないと考えます。何をどのように伝えるか、その方法や伝え方が今後の大きな課題となるでしょう。

学校の環境も大きく変化しています。例えば、今年度から導入された第三の制服の着用はその一例です。これにより、生徒は自分の個性や好みに合わせて制服を選ぶことができるようになり、多様性を導入する社会の流れに沿った取り組みとなっています。また、暑熱対策のためポロシャツの着用も認められることになり、これまでの制服の枠にとられない柔軟な対応が進んでいます。

この変化は、以前の学校生活では考えられなかったことですが、今や日常の一部となりつつあり、こうした変化を通して私たちは多様性を受け入れ、尊重し合う社会を築いていく必要があります。現代は多様な価値や背景を持つ人々が共に暮らす社会です。その中で、伝統やルールを守りつつも、新しい価値観や考え方を柔軟に取り入れることが求められます。

着任の挨拶

21 代校長 板垣光保



この 4 月の異動により尾西高校より赴任してまいりました板垣光保です。よろしくお願ひいたします。

私は、本校に赴任するまで尾張地区の 8 校の高校で勤務してまいりましたが、名古屋市内での勤務は初めてです。校舎の様子や周囲の景観など伝統や歴史を感じさせるものも多く新鮮な気持ちで日々を送っております。

私は本校に赴任する前の 3 月に母校である尾西高校を閉校してまいりました。最後の年は閉校というこゝとで 1 学年だけとなり、生徒数も職員数も大変少なくなっていました。最後の在校生が充実した学校生活を送り、卒業していくにはどうしたらよいかとても不安でした。そんな中で同窓会が資金面で支援してくださり、また同窓生の方々が保護者や地域の方々と一緒に在校生と学校行事に参加していただき、本当にうれしく思いました。同窓会の方々からかけていただいた「母校あつての同窓会であり在校生を最後まで支えていきたい」との言葉を本当に心強

く思い、同窓会との連携の大切さを実感いたしました。

本校は以前より同窓会から手厚くご支援いただき、人工芝のグラウンドを始め、魅力的な施設や設備が整っております。それもあって、在校生も生き生きと学校生活を送ることができていると感じています。大変ありがたいことと感謝しております。昨今、公立学校への逆風を感じるようなことも聞かれますが、本校は諸先輩方の活躍、同窓生や地域の方々からの支援のおかげで多数の中学生が憧れる人気校となっております。現在、熱田高校にいる在校生の皆さんが学校で充実した日々を送ることは、未来の熱田高校を支える力となります。そしてそれは同窓会活動の一層の発展にもつながるはずで

す。今後とも本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



入学生代表 誓いの言葉

退任の挨拶

20 代校長 桑山幸久



令和 6 年度で役職定年となり、現在は刈谷高校で教諭として勤務しています。

在任中は、佐々木前会長や柿崎会長をはじめ同窓会の皆様にご世話になりました。

2 年前、熱田高校への異動を聞いたときには、正直戸惑いました。当時勤務していた東浦高校をはじめ知多地区の高校は生徒募集に苦戦しており、名古屋市内の高校をライバル視していたからです。しかし、着任するとすぐにそんな気持ちには忘れ、熱田高校のことが大好きになり、楽しくやりのある時間を過ごすことができました。授業後の部活動を見て回ることが毎日の楽しみになり、生徒たちとあいさつを交わしたり、熱心に取り組む姿を見て、エネルギーをもらいました。また、対外試合や発表会など、可能な限り応援に行き、生徒の活躍する場面に立ち会えることも幸せでした。学校行事では、競技や発表内容のレベルは高く、クラスの一体感を強く感じました。競技を終えた仲間を拍手で出迎え



謝辞 卒業生代表

る光景が印象的でした。生徒会活動も活発で、中学生を対象とした学校説明会などでは、役員の生徒が学校の PR

をしてくれたおかげで、学校の楽しい雰囲気や伝えることができたと思います。文化祭の有志発表や体育祭の熱高リレーに参加して、生徒と競ったり、一緒に楽しんだこともいい思い出です。情けない姿はみせられないと本気で準備しました。熱田高校の生徒達のおかげで、引き続き学校に関わりたいという思いが強くなりました。

同窓会から寄贈していただいたグラウンドの人工芝は、教育活動に大きな力を発揮しており、熱田高校の魅力の 1 つになっています。「人工芝維持保全委員会」を立ち上げることはできたものの、軌道に乗るところまで進めることはできませんでしたが、心残りではありません。今後、外から熱田高校を支援していきたいと考えています。最後になりましたが、皆様のご健勝をお祈りいたします。2 年間ありがとうございました。

熱田高校の今

進路状況と今後の展望

進路指導主事 寺村祐耶



昨年度の入試結果について報告いたします。国公立大学への合格者43名、進学者は38名、

少なくとも過去20年で最多となりました。また、私立大学についても難関大学を含めて希望進路を実現す

る生徒が増加しています。特に関東や関西の有名私立大学に進学する卒業生も少なくありません。

目標に向かって最後まで粘り強く頑張り抜く雰囲気がこの数年で定着してきているように感じられ、この雰囲気現在の進路実績につながっていると考えています。また昨今の18歳人口の減少の影響は大きく、特に私立大学で入学難易度が易化している傾向があります。受験生にとっては選択できる進路が幅広くなってきています。このことを踏まえて進路選択をする上でのきっかけ作りなど、様々なアプローチで生徒たちがより高い目標を掲げて進んでいくためのサポートに今後も尽力していきます。

	4年制大学		専門学校	浪人	合計
	国公立	私立			
令和6年度	38	221	23	13	296
令和5年度	29	240	15	12	296
令和4年度	38	243	15	13	309
令和3年度	31	239	25	11	306
令和2年度	18	230	33	19	300

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
富山大学	2		3	2 (1)	1
金沢大学	1	1			
福井大学			3	1 (1)	1 (1)
岐阜大学	4	2 (1)	1	5	3
静岡大学	4	1	1	3	3 (2)
愛知教育大	8 (1)	5	8	2	3
名古屋大学	1	3 (2)	1	1 (1)	
名古屋工業大	1 (1)	3	1		1 (1)
三重大学	7	4		3	2 (1)
愛知県立大学	3	1	4	3	3
名古屋市立大	1	2 (1)	4	1	2
合計	46 (3)	38 (6)	41	37 (4)	25 (6)

中部地区(6年度)
主な私大の合格者数

愛知大 79 愛知学院大 69 愛知工業大 34 愛知淑徳大 56
金城学院大 15 椋山女学園大 14 中京大 217 中部大 71 名古屋学院大 22 南山大 83 名城大 63

新制服への期待

生徒会長2年 松波 梨桜



今年度から新制服としてブレザーが導入されました。ネクタイかリボンに、スカートかス

ラックスで選ぶことができます。

春になり、新入生が入学してから約2ヶ月経ちました。入学式で始めて新入生を見た時は、突然別の学校になってしまったのかと思わず感じたほど、普段見慣れない風景に少し戸惑いがありました。入学の女子生徒はブレザーとセーラー服の着用割



正門を登校する様子(5月下旬撮影)

合が半々ほどに分かれたのに対し、男子生徒はほとんどがブレザーを選択していました。

私自身、熱田高校のセーラー服が着たくて本校を選びました。それほど旧制服にも沢山の魅力が詰まっていると思います。新制服になることに寂しさも感じますが、多様性を重視し、ブレザーに完全に切り変わる学校も多いなか、旧制服も着られる選択枝があるのは嬉しく思います。

今年度からの新制服導入に伴って、学校指定のポロシャツの着用が全年可能になりました。以前までの夏服・合服よりかなり通気性が良いため、熱中症になる生徒が少しでも減ればいいと思います。

今後、新制服がどのように影響してゆくかわかりませんが、徐々に浸透していき、旧制服同様、熱田高校らしく人気のある高校になってほしいです。



第3の制服

がんばれ熱高生

今回は4人の方に原稿をお願いできました。1人は29号で原稿を書いていただいた61回生の杉本香穂さんです。中日新聞に彼女の記事が出ていたので、今回もう一度原稿を依頼しました。21回生の徳田康さんは、県サッカー協会理事長として活躍され、アジア大会事務局の一員として大会に向けての意気込みを書いていただきました。17回生の吉田眞さんは獣医として、活躍される反面、マンガ心があるとのことと原稿を依頼しました。これからも引き続き絵を投稿してもらいたいと思います。48回生の岡崎真衣さんには、トム先生からの教えが今の教員生活に生かされていることを書いていただきました。

女性白バイ隊員の私

61回生 杉本香穂

皆さんは「全国白バイ安全運転競技大会」という大会をご存知でしょうか。全国の各都道府県警察及び皇宮警察から選抜された白バイ隊員らによる交通事故の防止、殉職者の抑制、安全運転技能の向上、士気の高揚及び全国交通機動隊員の融和団結を目的とした競技大会です。

私は昨年、この大会に出場し個人総合女性の部で1位という結果を残すことができました。大会を終えてから、



ウィメンズマラソンでランナーの先導をする杉本さん

(中日新聞 令和7年3月9日付)

ありがたいことに中日新聞などで今大会のことについて掲載させていた

できました。その新聞を見てくれたらしく熱田高校の時に世話になった担任の先生や、同級生が連絡をくれました。卒業してからもうすぐで10年も経ちますが、こうして連絡をいただけたら等何年経っても熱田高校で築いた絆を感じております。

そして、先日行われた「名古屋ウィメンズマラソン」で先導白バイとして従事させていただきましたが、そこで熱田高校の当時校長先生である桑山様が会場で声を掛けてくださりとても嬉しかったです。沿道にも熱田高校時代お世話になった方が見に来てくれてパワーをもらいました。

熱田高校時代はバスケットボール部員として、仲間達と練習で毎日汗を流した日々でした。毎朝のランニングメニューはとてきつかったですが、試合の後半で相手よりも走り勝てることができました。ランニングメニューは地味できつい練習でもあります。スポーツをする上で基本となりとても大切な練習だと思いました。

社会人になった今も、基本の大切さというのは日々感じており、特に白バイ隊員は自分の命を守るためにも基本はとても大切です。私が昨年出場させていただいた「全国白バイ安全運転競技大会」はただ白バイに乗るのが上手いとか速いだけではなく、安全性や正確性も求められる大会です。なので、



競技中の走行

基本の乗車姿勢だったり白バイを乗りこなせる体力なども大切になってきます。熱田高校で学んだ基本の大切さは社会人になった今も、これからもずっと私にとって重要なもので、基本訓練を何度も繰り返した事が大会の結果にも大きく影響したと思っています。

在校生の皆さん、学校生活での部活動等、日々の生活の中で悩む事は沢山あると思います。そんなときは一度基本に戻って考えてみてはどうでしょうか。もちろん今の時代基本にとらわれすぎるのは良くないかもしれませんが、思い詰まった時は基本に戻って考えてみるのもいいかもしれません。皆さんのこれからの高校生活と、これからの未来が明るく楽しいものになることを願っております。

半世紀以上前の思い出

17回生 吉田 眞



もう50年以上前になります。昭和44～46年度に熱田高校へ犬山から通っておりまして。

当時は受験する高校に規制もなく好きな高校を受験するスタイルでしたので、友達と一緒に受験したことを覚えています。殆ど、名鉄神宮前駅から熱田神宮の中を歩いて高校に通っていたことが思い出されます。

高校時代は生物部の所属でした。微生物の担当をしており、地元犬山の入鹿池で季節ごとにプラントンを採取し、取りまとめて文化祭に展示していました。また両親に頼み込んで顕微鏡と一眼レフのカメラを買

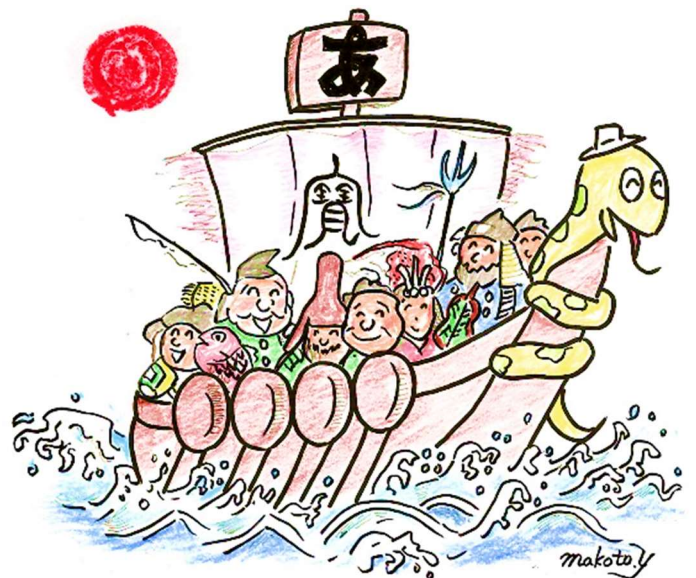
ってもらい家でも観察していたことを思い出しました。熱心というより、まだあの頃は面白かったんです。課外活動で日間賀島に行ったり、理科室の暗室で遊んだり思い出されるのがいっぱいです。

当時は、中学校時代に結成した漫画同人誌の活動も熱心に行っていました。自分も含めて仲間が書いた漫画を編集して本を作成し、仲間がそれぞれ通っていた高校で披露し、意見を聞いて次の漫画本を作成する参考にするんですが、見せた時の反応が楽しかったです。当時生物部にいた真野君も海部郡の漫画グループに所属していて、交流会を開催したこと

もよい思い出です。生物が好きなことと、小さいころにドリトル先生に憧れていたことから、岐阜大学獣医学科を目指し、高校3年から真面目に勉学に取り組み

しましたが、入学したら馬術部にはまり、酒にも溺れ、麻雀は徹夜・なんて生活をしていたため、なんとか国家試験は受かったもののまともな獣医師になったのかは疑問でした。

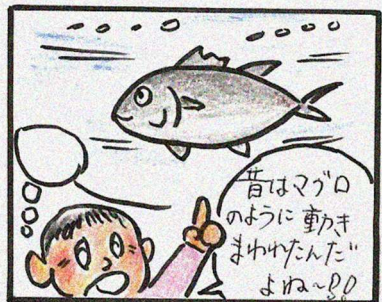
その後愛知県庁に就職しましたが、あまり獣医師とは関係のない職場が多かったのもそのせいかもしれません。(ペーパードライバーならぬ、ペーパー獣医師と呼ばれたりして)ところで、昨年5月に2年生の同窓会を行いました。懐かしさと同時に思わず名前を聞いてしまうといった隔世の感がありました。半世紀以上に井上陽水が歌った「人生が二度あれば」の歌詞にでてるお父さんは65歳なんです。かなり年



熱田宝船出帆

くった感じなんです。もう70歳過ぎてるんですが、そのころのイメージとは違いますね。まだまだ元気です。

(文中の絵はすべて吉田眞氏の作品)



たつ年(2024) ⇒ み年(2025)

アジア競技大会を
成功させるために

21回生 徳田 康



熱田高校を卒業してから50年が経ちました。小学校から始めたサッカーですが、選手として、指導者として有意義なサッカー生活を送ってこられたのは、熱田高校で培った基盤があったからだと思っています。

2005年に日本サッカー協会（JFA）のスポーツマネージャーの資格を取得したのが、人生の転機となりました。それまで県立高校の教諭としてサッカー部の指導をしていましたが、JFAからの後押しもあり、教職を辞めて愛知県サッカー協会の専務理事として、組織をマネジメントする立場となりました。傍らJFAの仕事も行い、愛知県や全国のサッカー関係者を中心に一緒に仕事をし、スポーツの持つ力を実感してきました。

2024年6月に県サッカー協会を退任し、その後、JFAからアジア大会のサッカー競技の責任者になってほしいとの依頼があつて2024年11月からなりました。

「アジア大会を成功させよう」と

組織委員会で働く人達は強く思っております。では何をもって成功と言うのでしょうか。皆さんはどう思いますか。日本のチームや選手が活躍し、多くのメダルを獲得することでしょうか。



メイン会場 瑞穂(公園陸上競技場)

日本サッカー協会の会長であった川淵三郎さんは、日本サッカー協会の目指しているのは、ワールドカップで優勝することだけでなく、生活の身近にサッカーやスポーツがあり、子供からお年寄りまで楽しむことができる環境をつくることだと言っていました。アジア大会において日



マスコット「ホノホン」

本の活躍を願いますが、最終的に描きたいことは川淵三郎会長さんが言われたようなことだと考えています。アジア大会を通じてそのような風景をつくるのが、私の組織委員会での大切な仕事です。

アジア大会では多くのボランティアの人たちに働いていただきます。ボランティアの人たちの思いを大切にしたいと思います。アジア大会のありたい姿、いわゆるビジョンに共感してもらい、ボランティアの人たちが持つ課題をアジア大会で解決してもらうことが大切です。それは個人だけでなく、組織や地域に対しても言えることです。

例えば、サッカー協会では、人口減少や少子化、学校部活動の縮小・廃止の中にあり、普及は大きな課題です。その課題をアジア大会で解決をしてもらいたいと思います。

組織が事業を進めるにあたり、「どうやって行うのか」「いくらで行うのか」に注視してしまい、「何のため

に」「なぜ行うのか」が薄れてしまうことがあります。アジア大会を何のために、なぜ行うのかを常に意識し、準備を進めていきたいと思っています。



多くの人たちにアジア大会を観戦してほしいと思います。また、運営に関わってほしいと思います。

そして大会を契機に、子どもからシニアまで様々な関わり方でスポーツを楽しんでいる。そんな風景が具現化されていることが、大会成功の一つと考えて進めていきたいと思っています。

(アジア大会組織委員会
サッカー競技運営責任者)



私とホノホン

20年経った今でも

48回生 岡崎真衣



2020年3月、
コロナという言
葉が世の中で広
り始めた頃、私は
学生時代にやっ

いたテニスに誘われました。その日
をきっかけに約5年、毎週のように
テニスをするようになりました。

私は熱高時代、テニス部に所属し
ていました。練習は毎日あり、なか
なか遊びに行くことはできず、他の
友達をうらやましいと思ったことも
ありました。練習は厳しく、夜にな
るとボールが見えなくなるため、テ
ニスコートの向かいにある中華料理
店の灯りを頼りにボールを追いか
けていました。しかし厳しい練習の甲
斐もあり、団体戦でも個人戦でも県
大会まで勝ち進むことができ、顧問
の先生や仲間たちには感謝でいっぱ
いです。

所属していたテニス部には、なぜ
か柔道部の顧問の先生がいました。
日本人ですが、あだ名はトム。最後
の大会の直前にトム先生から話をし
てもらったことを、今でも覚えてい
ます。その時にもらった手紙は今で
も私の宝物です。そこにはこんなこ
とが書いてあります。

「テニスは2人でできるスポー
ツだが、2人だけで練習して上手く
なったのだろうか。一緒に球拾い・
ランニングをした仲間、先輩や顧問
から多くのことを教わったはず。周
囲のみんなに強くしてもらった。自
分を強くしてくれた周りの人のため
に力を出してきてほしい。プラスの
心をもって戦えば、その声援は強い
応援となる。マイナスの心をもって
戦えば、それは自分へのプレッシャ
ーとなる。大切に思っている試合に
なればなるほど、誰でも自分の心
の中でプラスとマイナスのせめぎ合
いが起こる。そんな時に自分を強くし
てくれた同級生が、先輩が、後輩が
、顧問がコートサイドで純粋な気持
ちで応援してくれていることを思い
出してほしい。」

これは手紙の一部です。20年経っ
た今でも、手元にあります。またこ
の教えが今でも私の支えとなってい
ます。

私は刈谷で中学校教員になって
18年目を迎えました。ソフトテニス
部の顧問も18年目となりました。20
年経った今でも、あの時に教わった
大切なことを目の前の生徒に伝えて
います。2020年から再開したテ
ニスで多くの仲間に出会いました。
これも熱田高校での苦しい日々を乗
り越えたからだと思っています。最

近では、試合にも参加するようにな
りました。緊張感が高まる場面がた
くさんありますが、コートの上では
学生時代を思い出すこともあり、気
を緩めた瞬間にポイントを取られ
たり、粘り強くボールを追いかけた
り、あの頃と変わらない場面もあり
ます。



熱田高校時代の仲間と

20年経った今も、お世話になった
先生を思い出し、テニスを続け、そ
して教員をしている私。今、こんな
にも充実した毎日が送れているのは
間違いなく熱田高校での生活があっ
たからです。

後輩のみなさん、頑張れ！

(中学校教員)



事務局だより

令和7年度教職員の異動

退職者・転出者・転入者一覧

退職者(継承略)

教諭(再)橋本 正秀	熱田高(再)
教諭(再)青木 宏憲	熱田高(再)
教諭 中澤 高志	熱田高(再)
教諭 斎藤 真治	松蔭高(再)
臨時的任用教諭 平川 隆	熱田高

主事 森 万里子	県民文化局
用務員 下梶谷 精一	退職

転出職員(敬称略・所属先)

校長 桑山 幸久	刈谷高
事務長 伊藤 みよ子	東郷高
教諭 安藤 彰浩	松蔭高
教諭 湯浅 聡	半田高

転入職員(敬称略・所属元)

校長 板垣 光保	尾西高
事務長 原 利江	海翔高
教諭 浅井 勇喜	岩倉総合高
教諭 田島 諒	旭野高
主事 伊藤 裕美子	県民文化局
用務員 山田 浩	

同期会だより

ホームページを閲覧ください。



デジタル・ホームカミングの制作
同窓会長 柿崎賢一

今年は昭和100年、私たち17回生は、母校が設立された年に生まれたことに、あらためて気づきました。おまけに今年は巳年で、私たちの干支（ちなみに私は3月生まれで牛年）でもあります。そんな話題もきっかけに、「今年こそ、何か形のあることをやろう」と決意し、新役員の同意を得ました。

熱田空襲の記憶を、母校の後輩たちにぜひ伝えなければ。そう思い立ち、さっそく新聞、図書館、古本屋、歴史資料館、愛知時計、そして慰霊碑を管理されている法然寺などを訪ね歩きました。

そして、熱田空襲を軸に、卒業生（約3万人）・在校生、恩師を巻き込んだ「デジタル・ホームカミング」をやろうとひらめいたのです。このコンテンツを母校に寄贈し、いつでも見られるようにしたいと考えました。あわせて、ドローンで上空から母校の撮影も行いました。

2025年の1月から5月末までに、およそ50人の方々への取材を終えました。今後も機会を見つけて追

加していきたいと思っています。また、次の役員の方にも、ぜひこの作業を引き継いでいただければと思います。

この動画は、母校へ同窓会から寄贈した大型スクリーン、同窓会のHP、そしてこの書面に些細のQRコードからご覧いただけます。ぜひご視聴ください。また、追加取材にご協力いただける方は、同窓会事務局までご連絡ください。

皆さんとともに、熱田高校の歴史を紐解き、その記憶を後世へ伝えていきましょう。

【熱田高等学校 ホーム・カミング】
<https://atsuta-hs.mie-projectm.com/>



夏（油彩画）
むせかえるような夏の日
エネルギーを蓄えて
勢いよく茂る夏草
11回生 田中和枝(旧姓・竹内)

同窓会新役員名簿（令和7年4月） （内数字 卒業回生）

- 会長 柿崎賢一（17）
- 会長補佐 横山紘一（17）
- 会長補佐 近藤かほり（28）
- 会長補佐 岡田房江（定時制8）
- 執行役員 柿崎賢一（17）
名簿・会則・ホームページ担当
- 執行役員 福島敦史（21）
部活OB統括担当
- 執行役員 青木宏憲（23）
学校幹事・回生統括担当
- 執行役員 奥田隆庸（25）
人工芝有効利用担当
- 執行役員 阿部文雄（25）
会計・会報・広報担当
- ◎ 顧問 板垣光保（現校長）
- ◎ 監査役 早川徳一（25）

令和6年度 愛知県立熱田高等学校同窓会会計収支決算報告				
（自2024.3.26至2025.3.31）				
【収入の部】		（単位：円）		
前年度繰越金				3,508,132
受入額	積立基金総額	人工芝・海外交流・部活動支援金		1,125,562
収入額	同窓会費	全日朝70回生 6,000×308人		1,848,000
	同窓会費	定時朝56回生 6,000×10人		60,000
	寄附金			30,000
	受取利息			1,480
		合 計		6,573,174 — A
【支出の部】				
管理費	会員データ	R6/4～R7/3・R7/4～R7/9		330,000
	ホームページ	R6/4～R7/3・R7/4～R7/9		330,000
	ドメイン	R6/10～R7/3・R7/4～R8/3		99,000
寄贈費	卒業証書ファイル	325冊（全日朝70回生・定時朝56回生）		203,125
	会報30号	卒業生配布350冊印刷費（予備含）		15,803
	パステル画取付			110,180
助成費	全国高校総体	陸上競技2人・アーティストックスミニング1		30,000
	同期会会費支援	19・20回生		60,349
会報費	会報製作費	29・30号		291,721
会議費	役員会	東急ホテル（R6/3）他2件		356,530
事務費	事務用品他	印鑑代・Adobeサブスクリプション		34,300
企画費	ホームカミング	画像編集、システム開発・ドローン飛行		1,615,414
通信費	使用料	インターネットバンキング R6/7～R7/3		29,700
雑費	振込手数料他			11,162
		合 計		3,517,284 — B
次年度繰越金	A — B			3,055,890
《繰越金内訳》	①三十三銀行 本陣支店 普通預金 No.7008670			1,024,999
	②三十三銀行 本陣支店 普通預金 No.7008769			2,030,891
	③現金			0
注1. 令和6年度積立基金総額（人工芝・海外交流・部活動支援金）1,125,562円 含				
注2. 令和6年度寄附金総額 30,000円（1人）含				
上記のとおり会計報告をします。		令和7年5月3日	会計代表	阿部文雄
令和6年度会計における証拠書類並びに会計帳簿を精査したところ、正確に処理されている		令和7年5月22日	監査代表	早川徳一
ところを認めます。				